



タック TACの家庭菜園教室



TAC（タック＝営農経済渉外）が家庭菜園を行う際のポイントや注意点などをじっくり分かりやすく解説いたします！

ジャガイモの追肥について

ジャガイモを元気に育て、おいしいイモをたくさん収穫するためには、「追肥（ついひ）」がとても大切です。追肥とは、生育途中の植物に追加で肥料を与える作業のことで、ジャガイモの成長段階に合わせて適切なタイミングで行うことで、イモの肥大を助け、収量や品質の向上につながります。

①追肥のタイミング

ジャガイモの追肥は、主に 2 回行います。

【1 回目】芽かきの後（植え付けから約 3～4 週間後）

芽が 15～20cm ほどに伸びた頃に行う「芽かき」の後が、最初の追肥のタイミングです。この時期に肥料を与えることで、茎葉の成長を助け、しっかりとした株に育てます。併せて「土寄せ（株元に土を寄せる作業）」も行くと、倒伏防止やイモの緑化防止にも効果的です。

【2 回目】花が咲く頃（植え付けから約 6～7 週間後）

花が咲き始める頃は、ジャガイモが肥大を始める大切な時期です。このタイミングでの追肥により、栄養がイモに行き渡り、収穫量の増加が期待できます。

②使用する肥料と与え方

基肥で窒素を多く施してしまうと、地上部ばかり大きくなってイモの部分が太りにくくなってしまいます。そのため基肥を多くし過ぎず、追肥で窒素をあげるようにしましょう。

追肥には、^{りんしょうあんかり} 燐 硝 安 加里 S604 か 646、国産化成肥料 14-14-14 などがおすすです。1 株あたり約 10～20g の肥料を、株元から少し離れた位置（10～15cm 程度）に撒きます。追肥後は軽く土と混ぜるか、土寄せをして肥料をなじませましょう。茎や葉に直接肥料が触れると「肥料焼け」の原因になるため、注意が必要です。

TACのオススメは
こちらの商品！



燐硝安加里 S604



国産化成肥料 14-14-14

③追肥のポイント

- ★肥料の与えすぎは、茎や葉ばかりが育ってしまう「つるぼけ」を引き起こす原因になります。適量を守ることが大切です。
- ★雨の直後は肥料が流れやすいため、天気を見ながら追肥のタイミングを選びましょう。
- ★水はけの悪い土壌では、肥料が残りやすいので控えめに施肥してください。

健康で立派なジャガイモを育てるために、成長に合わせた追肥をぜひ心がけてみてください！

お申込み・お問い合わせ

JA足利 営農振興課 ☎0284-22-4433(担当:TAC) 経済課 ☎0284-70-3071
または 北支店(経済)☎0284-43-8880 西支店(経済)☎0284-65-1139